



立命館大学国際平和ミュージアム

2018年度春季特別展「ヤズディの祈り—林典子写真展—」関連企画 講演会

人道支援で出会ったヤズディの人たち

日時：2018年6月2日(土) 13:30~15:00 (開場 13:00)

会場：立命館大学 平井嘉一郎記念図書館 1階カンファレンスルーム

講師：佐藤 真紀氏 (JIM-NET 事務局長) ※参加費無料・申込不要



佐藤 真紀氏

講演内容

佐藤真紀氏が事務局長を務める JIM-NET は、2015 年にはイスラム国から解放された避難民女性（内 24 人が性的な暴力を受けた女性）の医療支援をいち早く実施し、健診費・診療や治療のための薬代を支援しました。イスラム国に迫害を受け、シンジャール山に避難している避難民が基礎医療を受けられるよう、モバイルクリニックを 3 か月間実施するなど、ヤズディをはじめとした I S に襲撃された避難民支援の最前線で活動を行っています。

イラクで今もなお避難生活をおくる人々の様子を、現地で実際に彼らの支援に携わっている方からお話いただきます。

中東地域に暮らす人々がみている風景を伝えてもらうことで、このたびの写真展覧会の背景にあるヤズディの思いを、浮かび上がらせます。



難民キャンプの様子

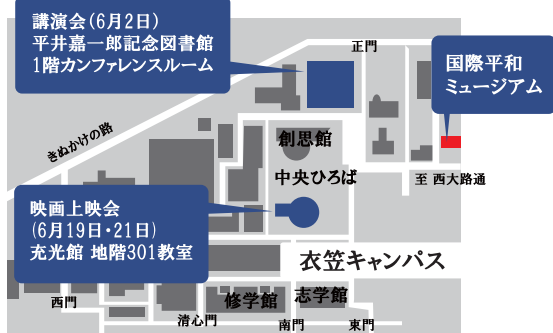
【JIM-NET (特定非営利活動法人日本イラク医療支援ネットワーク Japan Iraq Medical Network) とは】

1991 年の湾岸戦争以降、ガンや白血病の子どもたちの数が増えているイラクを中心に医療支援を行っている日本の NGO や、関心のある医師たちのネットワーク。

日本では、小児白血病は 80% 以上が治る病気になっているが、イラクでは国際社会が課した経済制裁で、病院の設備は老朽化したまま、薬も欠乏し続けたために多くの子どもたちが死んでいきました。2003 年のイラク戦争後の経済制裁解除後も、各国の ODA や国際機関の支援も滞ったまま状況はなかなか改善されませんでした。そこで、これまで薬の支援などをしてきた日本の NGO 団体には、今後更なる支援の効率を上げるため、援助の重複を避けて役割分担を明確にした調整と、医療の専門性が必要とされ、組織された特定非営利活動法人です。(公式 HP より要約、抜粋)

講演会(6月2日)
平井嘉一郎記念図書館
1階カンファレンスルーム

映画上映会
(6月19日・21日)
充光館 地階301教室



立命館大学
国際平和ミュージアム

Kyoto Museum for World Peace,
Ritsumeikan University

TEL:075-465-8151

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

<http://www.ritsumeikai.ac.jp/mng/er/wp-museum>